



「日本でいちばん大切にしたい
会社の事例から学ぶ」～ 誰で
も働ける社会をつくろう～

人を大切にする経営学会会長
経営学者 坂本光司

1. はじめに

- (1) 障がいのある社員からの手紙
- (2) 3人の障がい児と暮らす母親からのメール
- (3) 障がいのある小学生の作文
- (4) 日本でいちばん大切にしたい会社大賞の創設

2. 企業経営の目的・使命

- ①その企業に係る全ての人々の
幸せの追求・実現
- ②その企業に関わる全ての人々
が幸せを実感する経営の実践
- ③業績や勝ち負けは目的ではなく
手段・結果

3. とりわけ大切な人とは5人である

(1) 社員とその家族

(2) 社外社員とその家族

(3) 現在顧客と未来顧客

(4) 地域住民、とりわけ障がい者や高齢者
等社会的弱者

(5) 出資者・関係機関

4. 経営は、

儲かるか・儲からないか…、
勝つか・負けるか…ではなく、

5人の人々の幸せの創造にとって

正しいか・正しくないか…、

自然か・不自然かを
軸に行う

5. みんなが幸せな会社(1)

- (1) 両腕がない障がい者が設立した会社
- (2) 特別支援学校の先生が設立した会社
- (3) 通常の2倍時間をかけ入社試験を実施した会社

5. みんなが幸せな会社(2)

- (4) 病弱の青年が障がい者のために会社を設立
- (5) 93歳の正社員が頑張る会社
- (6) 精神科医が障がい者のために設立した会社

5. みんなが幸せな会社(3)

- (7) 障がい者のためにフレンチレストランを設立した女性
- (8) ボランティアカットに出かける美容室
- (9) 障がい者施設に10倍の単価で発注する中小企業

5. みんなが幸せな会社(4)

- (10) 9工場中8工場が全壊しても社員を一人も解雇しなかった会社
- (11) 障がい者施設に販売所を提供する中小企業
- (12) 135名の社員は全員正社員(30%が障がいのある社員)

5. みんなが幸せな会社(5)

(13) 障がい者世帯や高齢者世帯に毎週声掛けをする銀行

(14) 3年間1日も出社できない社員に給料を全額支払った会社

(15) 地域貢献活動部のある社員数40名のゼネコン(予算は1.000万円)

5. みんなが幸せな会社(6)

- (16) 社員が就業困難となった場合、子供が大学を卒業するまで学費を負担する会社
- (17) 警備員を希望する障がい者のために会社を立ち上げた
- (18) 視覚障がい者が50名以上働く会社

5. みんなが幸せな会社(7)

(19) 牧師が障がい者のために立ち上げた会社

(20) 7年間で3年しか勤務できなかった障がいのある社員を雇い続ける会社

(21) 生まれた障がいのある子供の幸せのため会社を立ち上げた

6. 求められる障がい者雇用

- (1) 障がい者雇用企業がいい会社
- (2) 最も大切な人は障がい者
- (3) 障がい者雇用拡大の方策
 - ① 支援制度
 - ② 法律改正
 - ③ ごちやませ教育の充実
 - ④ 当事者の努力
 - ⑤ 地域住民の理解と協力



7. まとめ